

様式 5

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	開始 年 度	平成28年度
団 体 名	個人補助 (ひとり親家庭の親および児童)	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定 等 (条例・規則・要綱等)	函館市ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業実施要綱		

※対象が個人の場合は☑不要

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	ひとり親家庭の親および児童が、より良い条件での就業や転職へつなげるため、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図るため、受講開始時給付金および受講修了時給付金、合格時給付金を給付する。(受講開始時給付金は、支給対象者が対象講座の受講を開始した際に支給し、受講修了時給付金は、支給対象者が対象講座の受講を修了した際に支給し、合格時給付金は、受講修了時給付金を受けた者が受講修了日から起算して2年以内に高卒認定試験の全科目に合格した場合に支給)
目 的	(目的) 高等学校を卒業していない「ひとり親家庭の親および児童」が高等学校卒業程度認定試験合格をめざし、民間事業者などが実施する対策講座を受講する場合の費用の軽減を図るために給付金を支給することにより、「学び直し」を支援することを目的とする。
・ 効果	(効果) 高等学校卒業程度認定試験合格により、大学等への進学が可能となるほか、国家資格の取得など、より良い条件での就業や転職へつながる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	計
		市	その他				
収 入	R2 (決算)	0					0
	R3 (決算)	0					0
	R4 (予算)	150					150
	R4 (決算)	95					95
	R5 (予算)	525					525
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		計
	R2 (決算)			0			0
	R3 (決算)			0			0
	R4 (予算)			150			150
	R4 (決算)			95			95
R5 (予算)			525			525	

※1 補助事業にかかる決算確定後(実績報告時等)速やかに更新 ※2 予算内示後速やかに更新

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
----------------	--------------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	近年の厳しい経済状況の中、高校を卒業していない「ひとり親家庭の親および児童」は十分な収入を得ることが困難な状況にある場合が多く、「学び直し」を支援することが求められており、国のひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業に則り実施している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひとり親家庭の親および児童が、より良い条件での就業や転職へつなげるため、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図ることは必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国のひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業に則り実施しており、自主性の視点は当該事業に合致しない。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国の事業に基づき実施しており、最適な方法である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

様式 5

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
----------------	--------------------------

補助金の見直しについて

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
受講者全員が講座を修了し, 高等学校卒業程度認定試験に合格することを目標とする。

(達成状況)
令和3年度:実績なし 令和4年度:受講開始時給付金1件, 受講修了時給付金1件

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
<input type="checkbox"/> 十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他	高卒認定を取得することにより, 応募できる求人募集の幅が広がり, ひとり親の自立につながるため

○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容※現行のまま継続の場合もその理由を記載) 国の事業に基づき実施しているため見直しの余地がない。 (見直しの時期)
--	---

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定 ※3年間を目途とした終期を設定し, 終期到来年度には必ず見直しを検討すること

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 7 年度		令和 7 年度

1 見直しの視点

見直しの視点	見直しの具体的な内容
1 補助目的の効果が達せられたもの	令和5年度予算から廃止
2 社会情勢の変化等により現在の実情にそぐわないもの	制度を見直し, 廃止または削減(段階的削減を含む)
3 事業内容の見直し	補助事業の内容の見直しにより削減
4 終期を設定し, 補助しているもの	終期期限において廃止
5 国, 道制度に上乗せしている超過負担額のあるもの	令和5年度予算から見直し
6 団体運営費など長期間継続して補助しているもの	令和5年度予算から見直し

2 見直しの方向

- ① 令和5年度予算で廃止が可能なもの
- ② 廃止を前提に, 段階的に削減可能なもの
- ③ 団体の内部努力により, 一部減額が可能なもの
- ④ 補助期限の設定が可能なもの
- ⑤ 委託あるいは融資制度等に移行が可能なもの
- ⑥ 類似目的の補助金で統合が可能なもの
- ⑦ 特別な理由で増額を必要とするもの

3 団体への指導

- ① 自主財源の増額(会員等の増員など)
- ② 団体の統合化, 組織化
- ③ 補助金の終期設定(サンセット事業)とその周知